

MEIKO REPORT

第48期 第2四半期 株主通信

(2022年4月1日から2022年9月30日)

証券コード：6787

株式会社 メイコー

財務ハイライト

売上高

81,710 百万円

営業利益

4,641 百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益

6,419 百万円

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 2022年3月31日現在	当第2四半期末 2022年9月30日現在
資産の部		
流動資産	78,367	103,090
固定資産	89,961	113,787
有形固定資産	82,562	98,264
無形固定資産	954	7,614
投資その他の資産	6,444	7,908
資産合計	168,328	216,877
負債の部		
流動負債	73,027	102,573
固定負債	36,615	39,648
負債合計	109,642	142,222
純資産の部		
株主資本	45,464	51,245
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	6,700	6,700
利益剰余金	28,061	33,836
自己株式	△2,186	△2,180
その他の包括利益累計額	13,024	23,228
その他有価証券評価差額金	4	8
繰延ヘッジ損益	△41	△107
為替換算調整勘定	13,173	23,427
退職給付に係る調整累計額	△112	△100
純資産合計	58,686	74,655
負債純資産合計	168,328	216,877

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 2021年4月1日～ 2021年9月30日	当第2四半期(累計) 2022年4月1日～ 2022年9月30日
売上高	69,470	81,710
売上原価	57,310	69,189
売上総利益	12,160	12,520
販売費及び一般管理費	6,610	7,879
営業利益	5,549	4,641
営業外収益	357	4,595
営業外費用	559	495
経常利益	5,347	8,741
特別利益	12	0
特別損失	728	213
税金等調整前四半期純利益	4,631	8,527
法人税等	481	2,156
四半期純利益	4,149	6,371
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△40	△48
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,190	6,419

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 2021年4月1日～ 2021年9月30日	当第2四半期(累計) 2022年4月1日～ 2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,344	2,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,726	△21,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,723	26,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	152	1,081
現金及び現金同等物の期首残高	12,121	10,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,615	18,777

財務のポイント

●連結貸借対照表

- ・連結貸借対照表・当第2四半期連結会計期間末の総資産は216,877百万円となり、前連結会計年度末比48,548百万円増加。
- ・その主な要因は、流動資産では現金および預金8,326百万円の増加、受取手形および売掛金7,093百万円の増加、たな卸資産7,265百万円の増加、その他が2,051百万円増加、固定資産では有形固定資産15,702百万円の増加、のれんが6,595百万円増加。
- ・当第2四半期連結会計期間末の負債は142,222百万円となり、前連結会計年度末比32,579百万円増加。

- ・その主な要因は、流動負債では短期借入金が27,328百万円増加、固定負債では、長期借入金1,149百万円増加、退職給付に係る負債が1,762百万円増加。
- ・当第2四半期連結会計期間末の純資産は74,655百万円となり、前連結会計年度末比15,968百万円増加。
- ・その主な要因は、利益剰余金5,775百万円の増加、為替換算調整勘定10,253百万円の増加。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2023年3月期上期の業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **名屋 佑一郎**

2022年3月期 上期 連結実績/通期予想 (単位：億円)

	2022年 3月期 上期実績	2023年 3月期 上期実績	2023年 3月期 下期予想	2023年 3月期 通期予想	2023年 3月期 期初予想
売上高	695	817	963	1,780	1,700
営業利益	55 8.0%	46 5.7%	69 7.2%	115 6.5%	155 9.1%
経常利益	53 7.7%	87 10.7%	58 6.0%	145 8.1%	145 8.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	42 6.0%	64 7.9%	51 5.3%	115 6.5%	122 7.2%
期中平均為替レート (円/USD)	110.12	135.31	140	137.7	122

上期の業績について

当第2四半期連結累計期間における電子部品業界は、世界的なサプライチェーンの混乱による最終製品の減産が継続するとともに、資源価格などの上昇による物価の上昇や金利引き上げ政策などにより景気の減速懸念が広がり、先行きの不透明感が強まりました。このような状況の中当社グループでは、受注の減少に歯止めがなかったものの、若干の受注増加にとどまりました。販売面では、車載向け基板は自動車減産の影響が継続するとともに、スマートフォン向け基板では中国の景気低迷やウクライナ情勢による欧州向け需要の低迷が重なり厳しい状況となりました。生産面では工場稼働率が低下しコストの削減、投資の抑制などの施策を推進しましたが、営業利益は前年同期比でマイナスとなりました。為替が円安で推移したため、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は上期として過去最高となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、81,710百万円(前年同期比17.6%増)と前年同期に比べ12,239百万円の増収となりました。損益面では、営業利益が4,641百万円(前年同期比16.4%減)、経常利益が8,741百万円(前年同期比63.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が6,419百万円(前年同期比53.2%増)となりました。

通期の見通しについて

通期の業績見通しは、上期の事業環境に比べると改善傾向にありますが、引き続き不透明感も継続すると想定しております。基板事業は、主力の車載向け基板とスマートフォン向け基板において徐々に受注が回復しております。電子機器事業では、7月に公表いたしましたNECエンベデッドプロダクツの買収を完了し、下期より連結対象子会社として社名をメイコーエンベデッドプロダクツと変更いたしました。売上高は期初計画1,700億円を据え置きとし、メイコーエンベデッドプロダクツの売上計画80億円を加え、1,780億円に引き上げました。営業利益は、上期の受注低迷により工場稼働率が低下し営業利益率が低下いたしました。下期は受注の回復に伴い工場の稼働率も徐々に高まることから利益率の改善を見込んでおります。費用面では各工場においてコスト削減に努めてまいります。設備投資は、今後の中核事業となるパッケージ基板向けの投資は継続してまいります。以上、その他設備投資は圧縮し、当初計画の220億円から200億円にいたしました。以上の施策により下期営業利益は、上期比50%増の69億円、通期では115億円の営業利益を見込んでおります。経常利益は期初計画通り145億円、親会社株主に帰属する当期純利益は115億円を見込んでおります。

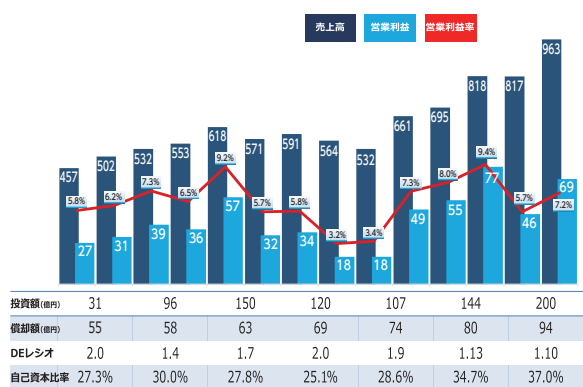
パッケージ基板投資の状況について

今後の主力商品となるパッケージ基板は、石巻工場でSAP工法、ベトナム第3工場においてMSAP工法の投資を進めておりますが、現時点においては順調に進捗しております。年度内の試作品出荷に向け引き続き準備を進めております。

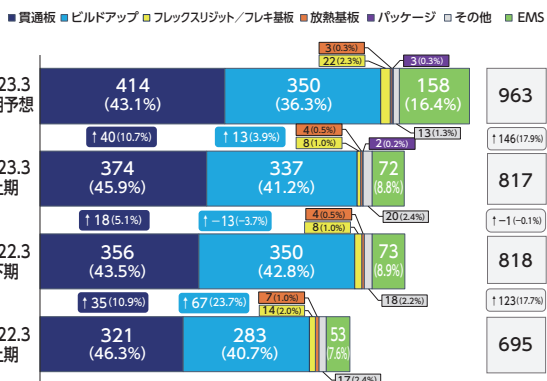
2022年3月期 上期商品別実績・通期予想 (単位：億円)

	2022年3月期 上期実績		2023年3月期 上期実績		2023年3月期 下期予想		2023年3月期 通期予想	
	売上	営業利益 営業利益率	売上	営業利益 営業利益率	売上	営業利益 営業利益率	売上	営業利益 営業利益率
車載	348	29 8.3%	417	28 6.7%	463	35 7.6%	880	63 7.2%
スマートフォン タブレット	146	16 11.0%	142	7 4.9%	172	15 8.7%	314	22 7.0%
半導体パッケージ		-	2	0 0.0%	3	0 0.0%	5	0 0.0%
SSD IoTモジュール	35	3 8.6%	48	7 14.6%	53	9 17.0%	101	16 15.8%
AI家電 アミューズメント 産業用商品	113	8 7.1%	136	3 2.2%	114	6 5.3%	250	9 3.6%
EMS 電子機器開発製造	53	-1 -1.9%	72	-1 1.4%	158	4 2.5%	230	5 2.2%
合計	695	55 8.0%	817	46 5.7%	963	69 7.2%	1,780	115 6.5%

売上高・営業利益他推移 (単位：億円)



2023年3月期 仕様別上期実績/下期予想 (単位：億円)



EMS/電子機器開発製造のご紹介

当社は長年EMS/電子機器開発製造の取り組みでまいりました。強化策として10月により、電子機器開発を行うメイコーエンベデッドプロダクツと生産を行うメイコーエンベデッドテクノロジーを連結子会社といたしました。

EMS事業

これまでベトナム国内の2工場で量産中心の事業を進めてまいりました。10月より、メイコーエンベデッドテクノロジーが操業し、日本とベトナムの2極生産体制となりました。これにより従来の大規模量産に加えて、日本国内での開発試作案件への対応が可能となり、より一層顧客ニーズに適應したEMS事業を行うことが可能になりました。

拠点	生産ライン数	特徴
	ベトナム工場 EMS製造部 SMT:16ライン	車載案件を中心にプリント基板工場に隣接したワンストップ生産体制。実装、組立てライン共にクリーンルーム対応可能で、防塵要望が必要な高密度実装、無塵組立てにも柔軟に対応可能。
	メイコー・ トワダ ベトナム SMT:11ライン	無線・通信機器関連の実装及び組立て。特に通信検査機は各種取り揃えており、ご要望される機能・特性検査への対応可能。プリント基板はベトナム工場からの供給によるワンストップ体制。
	メイコー エンベデッド テクノロジー SMT:6ライン	回路設計、ソフトウェア設計、機構設計を担う開発・設計部門と開発品の試作～量産までの実装および組立て対応可能。プリント基板も国内工場を活用したワンストップ体制。

電子機器開発製造事業

電子機器開発製造事業は、メイコー本社内にある産業機器部においてFA機器、映像機器部において映像機器の生産を行っております。また、ベトナムにあるメイコーオートメーションは、主にメイコーの基板工場の自動化に貢献してまいりました。10月から、さまざまな受託開発を請け負ってきたメイコーエンベデッドプロダクツが加わり、AIを活用した映像解析やセンサーを活用したIoT技術の活用が一層強化されます。今後は既存のFA機器製造とのシナジー効果を高め、基板工場のスマート工場化を進め、生産性の向上を図るとともに、商品の外販を拡大してまいります。

拠点	部門	特徴
	本社 産業機器部	自動化設備やIoTシステム、ソフトウェアの開発・製造からアフターサービスまで、進化した付加価値のあるご提案をしています。
	映像機器部	業務用映像機器を開発・製造・販売しています。自治体の災害対策室、警察の総合指揮システムや消防防災システム、道路交通管制や鉄道、空港など社会インフラの監視システムにおいて多数採用されています。
	メイコー オートメーション	当社の基板工場の自動化機器をはじめ、AGVなど自動搬送機器の設計製造を行っています。
	メイコー エンベデッド プロダクツ	電気・電子機器の開発製造受託サービス事業、および製造受託サービス事業による先端技術・高品質・高信頼のモノづくりを行っています。

配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益向上を経営の重点課題の一つとしております。当期中間配当は、過去最高の親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことから1株当たり2円増配し、27円といたしました。株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーのご支援、ご期待に応えるべく、施策に対して全力で取り組み、企業価値の向上と持続的な成長に努めてまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



取締役
名屋 茂

小職はパワーエレクトロニクス本部にて、放熱性を重視した基板の研究開発ならびに量産立ち上げに注力しております。電子デバイスの発熱問題は年々深刻になっており、発熱問題の解決無くして高性能な製品の開発が難しくなっています。当社ではプリント配線板の構造を利用して発熱対策をする技術として、当社発のオリジナル技術であるメガスルホールを発表しており、現在多くのお客様に評価頂いており、将来的な量産に向けた準備を進めているところです。また業界トップクラスの16W/m・kの熱伝導率をもつ絶縁放熱材料を用いたメタルベース基板を開発しており、インバータなどの用途で評価が進んでいる状況です。高効率な電源制御に使われる基板技術の開発を進め、広く社会に貢献出来るよう努力して参る所存です。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

コーポレートデータ (2022年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社メイコー
設立	1975年11月25日
資本金	12,888百万円
従業員数	12,228名(連結) (国内923名・海外11,305名)
主な事業内容	電子回路基板等の設計、製造および販売 ならびにこれらの付随業務に関する電子 関連事業

役員

代表取締役社長執行役員	名屋 佑一郎
取締役専務執行役員	篠崎 政邦
取締役専務執行役員	篠田 純也
取締役常務執行役員	坂手 純也
取締役常務執行役員	桔 梗 芳人
取締役執行役員	名屋 茂浩
取締役執行役員	申 允 浩
取締役執行役員	土 屋 允 生
取締役執行役員	西 山 洋 介
取締役執行役員	原 田 隆 文
取締役執行役員	小 林 俊 広
取締役執行役員	小 松 田 孝 弘
取締役執行役員	宮 内 弘 美
取締役執行役員	江 尻 琴 美

関連会社

株式会社山形メイコー	電子関連事業
株式会社メイコーテック	電子関連事業
株式会社メイコーテクノ	電子関連事業
メイコーエンベデッドプロダクツ株式会社	電子関連事業
メイコーエンベデッドテクノロジー株式会社	電子関連事業
名幸電子香港有限公司	電子関連事業
名幸電子(広州南沙)有限公司	電子関連事業
名幸電子(武漢)有限公司	電子関連事業
広州市斯皮德貿易有限公司	電子関連事業
Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.	電子関連事業
Meiko Electronics Thang Long Co., Ltd.	電子関連事業
Meiko Electronics America, Inc.	電子関連事業
Meiko Towada Vietnam Co., Ltd.	電子関連事業

株式情報

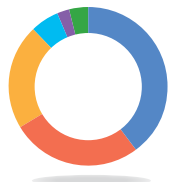
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	25,780,139株 (自己株式 1,023,181株を除く)
株主数	6,706名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名屋 佑一郎	4,703	18.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,475	13.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,564	6.06
CLEARSTREAM BANKING S.A.	1,012	3.92
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION - CLIENT ACCOUNT	946	3.67
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC /FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	810	3.14
名幸興産株式会社	608	2.35
有限会社ユーホー	521	2.02
名屋 精一	405	1.57
株式会社三井住友銀行	377	1.46

※当社は、自己株式1,023,181株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況(普通株式)



個人・その他	39.80%
金融機関	26.68%
外国法人等	21.50%
その他の法人	5.86%
金融商品取引業者	2.32%
自己名義	3.81%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により当社ウェブサイトに掲載 https://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載

株式に関するお問合せ

- 住所変更、配当金受取り方法の変更等のお手続きは、お取引の証券会社にお問合せください。
- 証券会社の口座をご利用でない株主様、未払配当金のお手続きは、上記三井住友信託銀行証券代行部にお問合せください。